

2022 年度奨学金貸与 募集要項

1. 応募資格

大学の専門課程(3, 4年生)及び大学院で、化学をはじめとする理系全般の学科を専攻する学生のうち、学業人物ともに優秀で、旺盛な勉学意欲を有し、かつ経済的援助を必要とする者。

なお当会の奨学金貸与申請にあたり、他の奨学金を受けていること、またはその予定があることは妨げになりません。

2. 奨学生の種類と奨学金の額・貸与期間

貸与奨学生の種類		貸与する奨学金 月額(円)	年額(円)
大学の 専門課程	学費出資者と 同居するもの	30,000	360,000
	学費出資者と 別居するもの	35,000	420,000
大学院	学費出資者と 同居するもの	40,000	480,000
	学費出資者と 別居するもの	45,000	540,000

- ・ 貸与期間
正規の最短修業年限の終了までの期間。途中の学年から貸与を受ける場合は残りの修業期間。
- ・ 奨学金は無利息です。

3. 2022 年度奨学生採用予定数

全国から大学生、大学院生合計で**15名程度**を募集します。

4. 応募方法

下記必要書類を提出期限内に、大学経由で提出してください。
所定の用紙はホームページからダウンロードいただけます。

<https://ajischolarship.com>

- (1) 奨学金貸与申請書（所定の用紙。大学・大学院生共通）
 - * 連帯保証人は父母兄弟、又はこれに準ずるもの。
 - * 健康診断欄に記入しなかった場合は別途健康診断書を添付。
(健康診断書が期日まで提出できない場合には、提出日を明記してください)

- (2) 人物考査書及び推薦書(所定の用紙。大学・大学院生別)
 - * 推薦書には、大学の長または学部長の署名押印及び指導教官の推薦が必要。

- (3) 学部又は大学院の成績証明書

5. 書類提出期限

2022年 5月 27日（金）必着

6. 採用の通知と手続き

奨学生選考委員の選考(6 月上～中旬)を経て、理事長が決定します。選考結果は在学する大学の長及び本人に通知します。

7. 採用になった場合

奨学生として採用を決定された者は、前項の通知を受けた日から14日以内に連帯保証人と連署した誓約書を理事長あてに提出して下さい。

8. 奨学金の送金

- (1) 奨学金は、原則として毎月一定日に交付します。ただし、特別の事情があるときは、2ヶ月以上を合わせて交付することがあります。奨学金の交付は、直接本人に送金します。
- (2) 新規採用者には、さかのぼって4、5、6、7、月分の合計4ヶ月分をまとめて7月中に送金します。8月以降は毎月一定日に交付します。
- (3) 休学、留年等の場合は、該当期間中送金を停止します。

9. 奨学金の返還義務及び返還方法

- (1) 奨学生が卒業、又は奨学金貸与期間が終了したときは、貸与の終了した月の翌月から起算して6ヶ月を経過した後、貸与期間の5倍以内の期間(ただし、最高15年を限度とする。)を定めて、貸与された奨学金の全額を返還しなければなりません。
- (2) 前項の奨学金の返還は、年賦、半年賦又は月賦の方法によります。ただし、奨学生であった者の都合により、いつでも繰り上げ返還することができます。
- (3) 前2項の規定にかかわらず、奨学生であった者が、次の各号に該当する場合は、貸与した奨学金の全部又は一部につき、繰上げて返還させることがあります。
 - ・偽りの申請その他の不正の手段によって貸与をうけたことが明らかになったとき。
 - ・返還を怠ったとき。

10. 奨学金の返還猶予と免除

(1) 奨学生または奨学生であった者が、次の各号の一に該当する場合は、願い出によって奨学金の返還を猶予またはその一部を免除することがあります。

- ・災害により損害を被ったため返還が困難となったとき。
- ・傷病および生活困窮のため返還が困難となったとき。
- ・貸与終了後引き続き上級の課程に進学したとき。
- ・留学したとき。
- ・その他貸与奨学生返還猶予等審査委員会が特に認めたとき。

(2) 返還猶予の期間は、その事由の終了したときまでとします。

11. その他

休学、退学、留年、その他の学生の身分などに変更があった場合や、住所変更、連帯保証人の変更など既に届け出た書類の記載事項に変更を生じたときは、そのつど当会に届け出なければなりません。

当奨学会の受給により、卒業後の進路などに制約を課すことは一切ありません。

鈴木ナカ記念奨学制度のご案内

奨学金貸与生として採用された方の中で、大学院（修士・博士課程）へ進学を目指す女性の方を対象に、貸与奨学金の返還を免除する制度です。

概要

1. 応募資格

本会の奨学金の貸与を受けた女性で、大学院の修士課程もしくは博士課程に進学を志す、学業人物ともに優秀で、旺盛な勉学意欲を有する者。

2. 対象となる奨学金の額

返還免除金額は、申請時点で所属する課程に貸与された金額全額。

3. 採用予定数

毎年1名程度

4. 必要書類

- 1) 鈴木ナカ記念奨学金願書（所定の様式）
- 2) 現在までの研究状況および今後の研究計画」（所定の用紙）
- 3) 在籍する研究科、大学の長、または指導教官の推薦書
- 4) 在籍予定大学院修士もしくは博士課程の「入学許可書」または「合格通知書」のコピー
- 5) 成績証明書

5. 書類提出期限

10月31日必着

6. 採用の通知

12月中旬ごろ通知

申請書類の記入のしかた

1. 奨学金貸与申請書の記入について

奨学金貸与申請書は、選考上の大切な資料ですから、申請時現在の事実をありのままに、わかりやすく記入して下さい。記載すべきことが書かれていないとき、あるいは判読困難なもの等不備のある申請は、選考の対象から除外します。また、記載内容が故意に事実と相違している場合は、採用を取り消すことがありますから正確に記入して下さい。

- ①氏名、生年月日、本籍地は、戸籍謄本に記載されているものを記入して下さい。
- ②申請時現在の学部・課程の卒業または修了予定は最短修了の見込年月を記入して下さい。
- ③本人現住所は、自宅、自宅外など該当のものを○でかこんで下さい。電話は携帯または連絡可能なものを記入して下さい。E-mail アドレスも記入して下さい。
- ④家族状況に記入する「家族」には、申請本人の2親等(父母・兄弟姉妹等)以内のものは同居、別居を問わず全員記入して下さい。
 - 年齢・職業・勤務先・役職名または学校名・学年は、申請時のものを記入して下さい。
 - 家計支持者には「家計支持者及び別居者」欄に○印をつけ、年収(税込)を記入して下さい。父母の合計収入で家計をまかなう場合は両方を記入して下さい。別居者には「家計支持者及び別居者」欄に×印をつけて下さい。
 - 結婚して独立の生計を営む兄弟姉妹は、その配偶者、子供等の記入は不要です。
 - 父母が転職・無職・死亡等の場合の「理由」欄には、定年退職・事故等のように具体的に記入して下さい。

⑤1 ヶ月あたり平均学資欄の本会以外の奨学金については、今年度受けられるものを月額で記入下さい。

(奨学金貸与申請書の裏面)

⑥健康診断の欄は医師が記入して下さい。(別途添付でも可能です)

⑦奨学金貸与希望の理由は、奨学金を希望するに至った事情について、家計の状況、学業とアルバイトなどとの関係等具体的に記入して下さい。

⑧本会以外の奨学金の履歴

●当奨学会申請前に受けていた奨学金の名称、奨学会名(日本学生支援機構、〇〇奨学会など)、あるいは大学名(〇〇大学奨学金など)を記入し、期間、月額、種類(貸与・給与)の別を記入して下さい。

⑨本人・連帯保証人の記名捺印は、奨学金貸与の申請と共に、採用後奨学生としての責任を守ることを誓約するため連署し捺印するものです。

連帯保証人は、父母兄弟、又はこれに代わる人に自署、捺印してもらって下さい。

印鑑は本人と同一のものは使用しないで下さい。

2.人物考査書及び推薦書(大学生用及び大学院用)の記入について

大学生用と大学院生用の2通りあります。どちらかよく確認して、申請者が記入すべき項目をすべて記入の上、指導教官の推薦と署名捺印を受けてください。

(1) (大学生用)の記入

申請書に沿って記入して下さい。

指導教官の推薦を受けた後、大学に提出し、学長または学部長の推薦(署名、捺印)を受けてください。

(2) (大学院生用)の記入

表面・裏面:申請書に沿って記入して下さい。

指導教官の推薦を受けた後、大学に提出し、学長または学部長の推薦(署名、捺印)を受けてください。

奨学金貸与申請書

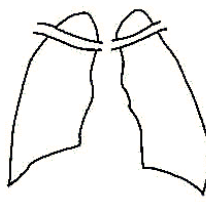


(大学生、大学院生共通)

年 月 日 記入

フリガナ 氏名 _____ 年 月 日生 男・女(満 歳)	希望する奨学金月額 _____ 円 希望貸与期間 自 _____ 年 月 至 _____ 年 月								
学部 _____ 科 _____ 年(編・入学 年 月)									
大学 ----- 大学大学院 _____ 研究科 _____ 専攻 _____ 課程 _____ 年									
本籍	都・道 府・県 _____	卒業又は 修了予定 _____ 年 月卒業見込 修了							
現住所 〒 _____	TEL() _____	自宅 自宅外	写真 (4.0X3.0cm、上半身、脱帽、裏面に氏名を記入すること。最近6ヶ月以内に撮影したもの。)						
携帯 TEL _____	e-mail: _____								
両親 〒 _____	TEL() _____	持ち家 借家							
住所 携帯 TEL _____									
本人の履歴	年 月 立	中学校卒業	年 月						
家族状況	続柄	氏名	年齢	職業	勤務先又は 在学学校名・学年	奨学金の 貸与	年収	家計支持者及び別居者(※)	
	父		才			/	万円		
	○転職・退職・無職・死亡等の場合 その年月(年 月)理由() 前職・前職時の収入(: 千円)								
	母						/	万円	
	○転職・退職・無職・死亡等の場合 その年月(年 月)理由() 前職・前職時の収入(: 千円)								
	本人		才				/	万円	
			才				有・無	万円	
			才				有・無	万円	
1ヶ月の平均学資	収 入	家庭から _____ 円							
		アルバイトから _____ 円							
		本会以外奨学金 月額 _____ 円							
		(奨学金の名称 _____)							
		合計 _____ 円							
支 出	家賃 _____ 円								
	平均生活費 _____ 円								
	学習関連費 _____ 円								
	その他 _____ 円								
	合計 _____ 円								
授業料 年額 _____ 円		支払いは _____ 円		家庭、アルバイト、その他から					



※別居者には×、家計支持者には○印を記入

① 健康診断の欄は医師が記入のこと。
 ② 連帯保証人は父母兄弟またはこれに代わる者で将来奨学金返還に責任を負う者であること。

健康診断(別紙でも可)	既往症(主として結核症)		X線検査				
	病名	発病	年	月	※ (透)	(間)	(直)
	治療	年	月	 所見 検査の時 年 月 検査の場所			
	完治	年	月				
	判定	※ 就学	(可)	(注意)	(不可)	医師	印
		20	年	月	日		
奨学金貸与希望理由	(家庭事情などを具体的に)						
奨学金の履歴	奨学会(学校奨学金)名	貸与または給与の期間		月額	貸与・給与		
		(自)	(至)				
		年 月	年 月	円	貸・給		
		年 月	年 月	円	貸・給		
		年 月	年 月	円	貸・給		
<p>以上の通り記載に相違ありません。</p> <p>貴会の奨学生としてご採用の上、奨学金の貸与を受けたく、お願い申し上げます。</p> <p style="text-align:center;">本人:</p> <p style="text-align:center;">年 月 日 署名 _____ 印 </p> <p>奨学生にご採用の上は本人に奨学金をご交付下さいますようお願い申し上げます。</p> <p>なお本人に対しましては奨学生としての責任をはたすことはもとより、奨学金の返還その他の義務につきましても規定に従い、私も連帯の責任を負うことを誓約いたします。 (フリガナ)</p> <p style="text-align:center;">連帯保証人:</p> <p style="text-align:center;">(〒 —) (TEL) — —</p> <p style="text-align:center;">現住所 _____ 本籍地 _____</p> <p style="text-align:center;">職業 _____ 本人との続柄 _____</p> <p style="text-align:center;">生年月日 _____ 年 月 日生(_____ 歳)</p> <p style="text-align:center;">公益財団法人味の素奨学会 理事長殿 署名 _____ 印 </p>							

人物考査及び推薦書



(申請者記入欄)

大学		学部		フリガナ 氏名	
学科 (年 月入学)		年		生年月	年 月生 男・女 (才)
趣味・資格(免許等) 得意科目など				クラブ活動 (高校・大学)	
私の性格					
(指導教官記入欄)					
本人の得意科目、潜在能力、将来の見込みについて					
家計・学資状況について学校が特筆すべきこと					
人物その他の事項について					
推薦内容(別紙でも可)					
印 					
指導教官名 _____					
学業人物ともに優秀で、旺盛な勉学意欲を有する者であり貴会の奨学生として適當の者と認め推薦いたします。					
年 月 日		大学名			
公益財団法人 味の素奨学会理事長殿		職名			
		(学長又は学部長)			
		氏名			
印 					

記入上の注意
 は家計が特殊事情にあるもの、特にその必要があると思われるもの、人物ついて特に強調の必要があるもの等の場合に記入する。

人物考査及び推薦書

(申請者記入欄)

大学大学院		研究科 研究院 府	フリガナ 氏名	
専攻 修士・博士 (年 月入学)		課程 年	生年月	年 月生 男・女 (才)
趣味・資格(免許等) 得意科目など			クラブ活動 (高校・大学)	
私の性格				
(指導教官記入欄)				
本人の得意科目、潜在能力、将来の見込みについて				
家計・学資状況について学校が特筆すべきこと				
人物その他の事項について				
推薦内容(別紙でも可)				
指導教官名				印 
<p>学業人物ともに優秀で、旺盛な勉学意欲を有する者であり貴会の奨学生として適当の者と認め推薦いたします。</p> <p>年 月 日 大学名</p> <p>公益財団法人 味の素奨学会理事長殿 職名 (学長又は学部長) 氏名</p>				
				印 

記入上の注意
 は家計が特殊事情にあるもの、特にその必要があると思われるもの、人物について特に強調の必要があるもの等の場合に記入する。

(大学院生用)
(申請者記入欄)

所属研究室名 (年 月 より所属)		指導教官 氏名	教授 准教授
研究題目 (未定の場合は 前期課程の研究題目)			
研究の概要 研究題目未定の場合、 下記該当に 印 ・ 卒論・卒研 ・ 修士論文			
今後の研究 (研究題目未定者のみ 記入)			